保存版

門真市 洪水ハザードマップ

KADOMA City Flood Hazard Map
門真市洪水災害地図
가도마시 홍수 해저드 맵

門真市総務部危機管理課　〒571-8585 門真市中町1-1 TEL:06-6902-5812

令和７年６月修正

■このマップについて

災害に対しては、日頃からの備えが重要です。自宅周辺の災害の知識、避難先、避難先までの経路、情報の入手方法など、家族で話し合い、確認しておきましょう。

避難情報が発令されたら

避難情報は災害の状況に応じて発令します。警戒から避難情報の種類と、とるべき行動について理解し、発令された場合には適切な行動をとってください。

警戒レベル	情報の種類	とるべき行動	
5	緊急安全確保	●既に災害が発生している状況 ●命を守る最善の行動を取る	市町村が発令
	警戒レベル４までに必ず避難！		
4	避難指示	●速やかに安全な場所へ避難	
3	高齢者等避難	●避難に時間のかかる高齢者や所がいのある人等とその支援者は避難	
2	注意報（大雨・洪水）	●避難に備えて、ハザードマップ等により避難行動を確認	気象庁が発表
1	早期注意情報	●災害への関心を高める	

●情報伝達の流れ

関係機関の連絡先

名　称	電話番号
門真市役所	06-6902-1231 072-885-1231
門真警察署	06-6906-1234
門真消防署	06-6905-0119
守口市門真市消防組合消防本部	06-6906-1122

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに浸水が始まっているなど、危険が屋外に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難情報が発令されていても、洪水区域内にいれば、水害時から開される「水平避難」だけでなく、自宅の2階以上や近所の高い建物といった高い場所へ移動（垂直避難）して救助を待つという判断も必要です。特に、内水氾濫や突発的な浸水は予測が困難です。日頃から気象情報に注意を払ってください。

わが家の防災メモ（マイタイムライン）

あらかじめ避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、しっかり記入しておきましょう。

わが家の避難場所	家族がはぐれたときに集まる場所

マイタイムライン（富士通版）

いざというときの連絡先

119番 火事・救急・救助　110番 事故・事件

●家族の連絡先

名　前	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

避難の心得

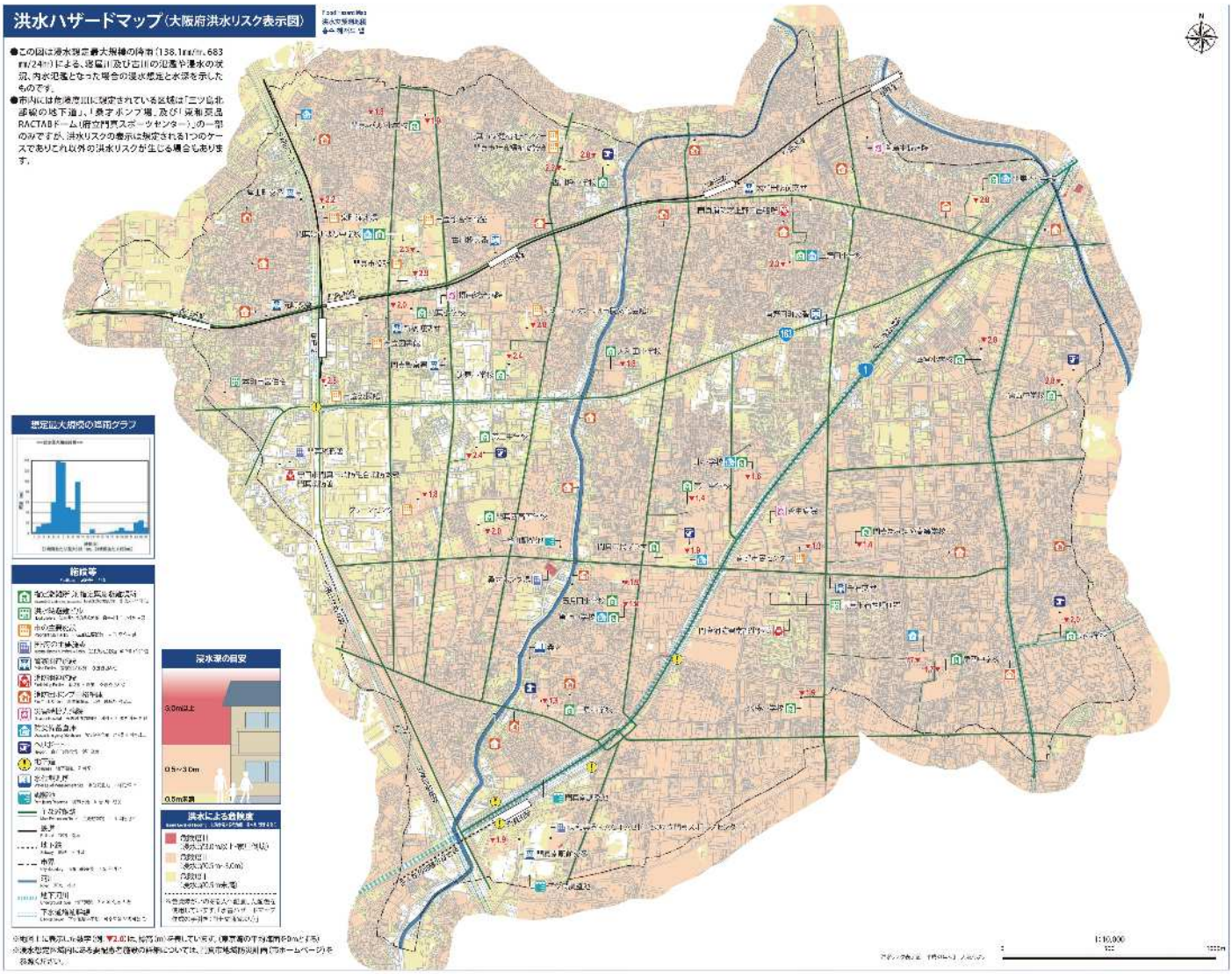
いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

- **状況により、早めに避難しましょう**
  避難が発令されたときに、自宅が安全であれば、無理に移動しようとせず、自宅の2階以上に避難したり、近くの高い建物へ垂直避難したりするなど、状況に応じて安全な避難方法を考えましょう。
- **住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう**
  万が一離れ離れになったときに備えて、自分の情報を書いたメモを用意しておきましょう。
- **手ぶらで避難しましょう**
  避難するときは、両手が自由に使えるようにしましょう。
- **非常持ち出し品は最小限に**
  非常持ち出し品はリュックなどに入れ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- **外出中の家族には連絡メモを残そう**
  「どこへ」「何時頃」「どうやって」などを書いて、玄関に貼っておくと安心です。
- **近隣で助け合おう**
  地域での避難訓練や、防災の集まりなどに積極的に参加しましょう。
- **できるだけ安全なルートで避難しましょう**
  ハザードマップなどを参考にして、できるだけ安全な道を選んで避難しましょう。
- **避難所などでは係の人の指示に従いましょう**
  避難所などでは、みんなが協力し合って生活するため、係の人の指示に従いましょう。

洪水ハザードマップ（大阪府洪水リスク表示図）

●この図は浸水想定最大規模の降雨（138.1mm/hr、683mm/24hr）による、寝屋川及び古川の氾濫や浸水の状況、内水氾濫となった場合の浸水想定と水深を示したものです。

●市内には危機管理型に設定されている区域は「三ツ島北部線の地下道」、「桑才ポンプ場」及び「東和苑及RACTABドーム（府立門真スポーツセンター）」の一部のみですが、洪水リスクの表示は設定される1つのケースであり、これ以外の洪水リスクが生じる場合もあります。



想定最大規模の降雨グラフ

施設等

浸水深の目安

浸水による危険度

※地図上に表示した数字例：▼2.0は、標高（m）が表している。（標高値の下位桁数が0mとする）
※浸水想定区域内にある要配慮者施設の詳細については、門真市地域防災計画（門真ホームページ）を参照ください。

淀川の浸水想定区域図

内水氾濫と外水氾濫

内水氾濫

降った雨が水路や下水があふれなどで排水しきれなくなることにより生じる氾濫です。

外水氾濫

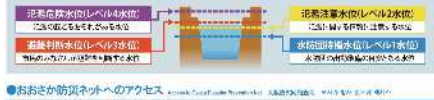
川の水位が堤防を越えたり、堤防から水が染み出したりして発生する氾濫です。

降雨、地形では、特定都市河川、特水都市河川に指定されている都市は、都市化の進展に伴い、雨水の流出量が増加することから、河川の水位に関係なく、下水道からの雨水を排除することがあります。このため、河川の水位が高くなることで、外水が原因で河川から溢れるおそれがあるときは、雨水の排除を一時停止して、内水被害の軽減に努めるものです。

河川の水位情報

河川の水位情報は、河川管理者による詳細の日々の情報です。水位情報は、テレビ（NHK総合テレビのデータ放送）や市や安否のホームページ「川の防災情報」で確認することができます。

発表される避難情報（目安）	河川名	寝屋川	寝屋川	古川	警戒水位
	水位観測所	泉小	堀溝（古川合流後）	桜井	
レベル5 緊急安全確保					氾濫発生
レベル4 避難指示		3.40m	5.45m	5.50m	氾濫危険水位
レベル3 高齢者等避難	基準水位	3.30m	5.35m	5.30m	避難判断水位
—		3.20m	4.80m	4.50m	氾濫注意水位
—		2.80m	3.50m	2.70m	水防団待機水位



●おおさか防災ネットのアクセス

おおさか防災ネットは、防災情報メールによるプッシュ型情報発信に加え、ホームページへの入力型の情報収集・発信機能、災害時の避難情報などの災害情報のメール配信サービスです。

インターネットによる情報入手

災害時の情報は自ら積極的に入手しましょう。

- 門真市ホームページ
- 大阪管区気象台
- おおさか防災ネット
- 国土交通省川の防災情報
- 大阪府河川の防災情報